

K A K E G A W A

かけがわ 第14号

市議会
だより

平成20年2月1日

編集/発行 掛川市議会

静岡県掛川市長谷一丁目1番地の1

☎ 0537 (21) 1160

<http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp>

掛川燦々(さんさん)会ふれあい作品展 (中央図書館)

おもな内容 — CONTENTS

- 11月定例会の概要 2ページ
- 一般質問 4ページ
- 可決された意見書要旨 9ページ
- 審議結果一覧表 10ページ
- 傍聴席/2月定例会の予定 12ページ

11月定例会

平成19年第6回(11月)定例会が、11月29日から12月21日まで23日間の会期で開催されました。

今期の定例会では、一般会計と特別会計の補正予算や掛川市建築審議会条例の制定など29議案が上程され、審議の結果いずれも原案のとおり可決、承認、同意されました。

また、議員から提出された「太陽光発電設備普及促進に関する意見書」他3件が全会一致で可決されました。

政策議会報告

11月定例会は、政策議会と位置づけられ、掛川市の課題について、中・長期的な展望に立って活発な議論が交わされました。

この協議会で話し合われたことが、今後の行政施策の道筋の一つとされます。

ここでは、本会議最終日に行った委員長報告の要旨を掲載いたします。

総務委員会協議会

1. 市の財政状況と財政計画

問 自治体財政健全化への4指標とは。

答 ①実質赤字比率②連結実質赤字比率③実質公債比率④将来負担比率。このどれかの数字が基準を上回ると、早期健全化団体になる。

問 経常収支比率が今後どうなっていくのか、その展望は。

答 上がり勾配になっている。元利償還金のピークが20年。合併事業等ある程度見通しがついているものは入れている。税収の増減など、いろいろな要因が絡んでくるため、見通しがつきにくい。

問 南北道、幼保園、聖苑、病院、消防署等あるが優先順位を付けてやるのか。

答 病院建設は、少なくとも5年の間には建設していくと考えていくべきだと思う。そのために、来年度から3億円は最優先して積んでいきたい。南北道は必ずやっていくという約束をしてある。幼保園は、21年度に三笠幼稚園、22年度には、さかがわ幼稚園を手がけていく。これで8園構想が完結する。消防署が一番難しい判断である。県の対応を待った上で対応していく。聖苑については、一度の財政負担にならないようにやっていく。

最終的にどこで調整するかとなると、投資的経費で一般的な普通建設事業費となっていく。ある程度我慢してもらい、最重要課題についてやっていく。

2. 市議会中継システムと超高速ブロードバンド整備

問 議会のインターネット中継をすることは必要であるが、経費的にどうか。

答 新年度予算などで財政的にも可能である。リースでやるので、維持・管理・補修費を含めても、年約250万円程度になる。回線の整備をして全体のネットワークを再構築していくと、早くても20年9月議会と思っている。

問 将来的にケーブルテレビの見込みがあるのか。

答 10億円、20億円になるので、掛川市では困難である。

問 光ファイバーでの受信可能地域は。

答 市内の61.6%が整備されている。北部地域や南部地域は整備されていないが、会社や工場は個別に専用線を引いている。大東支所や大須賀支所、学校等の公共施設には、地域公共施設間ネットワークで対応して全部つなげているが、セキュリティ的にそれを市民に開放することはできない。技術開発が日進月歩で進んでいる状況であり、光とって20億円もかけてやるべきかどうかは、判断がつけにくい。

文教厚生委員会協議会

生涯学習のあり方

●市の対応組織について

生涯学習都市宣言を踏まえ、生涯学習の理念、哲学を理解するとともに、ひとづくり、まちづくりを進める上で、狭義の生涯学習ではなく、広義の生涯学習全体として取り組めるように新年度の組織機構の中で考慮することが必要である。

●これまでの問題点

旧掛川市で長い間実践してきたが、生涯学習の理念と現実とのギャップがある。今後、団塊の世代の人たちをうまく取り込んでいくことが大切ではないか。

●今後の進め方

旧1市2町では温度差があり、これまで取り組んできたものの成果と課題を分析・検証し、全市的に取り組む必要がある。また、生涯学習は一般的には、趣味・教養というイメージが強く、まちづくりは、まず浮かんてこない。市民意識の調査も必要である。

介護保険制度の課題と問題点

- ・医療制度改革に基づく医療型の病床が大幅に減り、大きな影響が出るのではないか。
- ・訪問調査員の調査に、公平さが確保されているか。

- ・施設の充実やサービスの充実に伴い、一般的に料金が高くなる施設が多い。
- ・来年4月からの後期高齢者医療と合わせれば、毎月1万円超の掛金となり、払うことができない高齢者も出てくるのではないか。
- ・ニーズがあるといって施設を増やせば、介護保険料も上がり、市の負担も多くなり、その判断が大変難しい。
- ・これからは、介護に至らないようになることが重要であり、行政として、いかに健康で暮らせるかというような政策が必要である。

救急医療体制

平成16年度からの新研修医制度を契機に、掛川市立総合病院でも医師不足により、24時間救急体制が取れなくなり、平成18年10月から夜間の患者を制限し、小笠医師会の協力により、現在の救急体制に至っている。救急拠点をづくり、公設公営でという話もあるが、器はできても医師不足、看護師不足の中で夜間だけの勤務を頼める人があるのか、人材確保が難しい課題である。困るのは市民であり、最も厳しい時ではあるが、医師会と病院が協力して乗り切りたい。夜間救急は、今のところ、医師会のご協力で順調に推移しているが、問題・課題もあるので今後も研究していく。

経済建設委員会協議会

1. 農業施策の充実

●農業活性化特派員制度試行について

農業委員とともに、行政(基盤整備)、農協(生産指導)、農家(経営意欲向上)のパイプ役としての役割を担う。

- ・休耕田、遊休農地の解消策にも特派員の仕事として取り組んでいく。

★社会実験的に1年間試行する。

●畜産農業について

- ・課題は、糞尿処理、後継者、経済性、地域理解などである。

★『行政・農協・畜産農家三者による研究会』を発足し、掛川にふさわしい方向を早急に提言する。

2. 地域環境維持対策

道路、河川、荒廃農地等の草刈りは、大きな課題であり、国、県、市、地域での対応策が求められている。

●「農地・水・環境保全向上対策事業」～農水省事業

- ・農家と地域住民で組織を立ち上げ、管理地域を設定し、地域支援の拡大を目標とする。

●「リバーフレンドシップ」～県事業

- ・県、市、地域で河川美化協定を結び、草刈り機購入の援助や補助事業の拡大を目指す。

●「草刈り名人」～市政施策(平成19年度試行)

- ・危険箇所を中心に2名が1年試行～好評
- ・拡充のため、2名から平成20年度より5名にしたい。

●新「生涯学習都市宣言」の具現化～地域では

- ・地域は自ら守る運動(ゴミ等ポイ捨て防止)
- ・地域美化の競い合い、風土づくり～表彰制度要望

3. 公共交通運営と今後の計画

●天竜浜名湖鉄道について

- ・関係6市町で、県支援を強く要請中である。
- ・DMV(鉄道バス)導入～運転手不足、最大乗客16名等難題あり。
- ・沿線住民は「愛する会」を組織し、花壇作りや草刈り奉仕等で一体感を醸成して存続を強く切望している。
- ・運営基盤である利用者獲得が課題。

●自主運行バスについて

- ・地域公共交通会議の報告を受け、検討した。
- ・黄色バス乗車料金の統一化の検討。
- ・掛川中横須賀線は、年間1,800万円の赤字となっている。
- ・西循環バス新運行計画採択の検討。

●総合的な交通政策の考え方について

- ・財政支援(赤字補填)限度の是非。
- ・公共交通は社会的弱者救済で、福祉要素と考える。
- ・市内空白地域をなくしたい。

★優しいまち、活力あるまち、夢あるまちを願うとき、掛川市発展と福祉への投資的経費と考えるべき。

一般質問 Q&A

● 質問部分は、質問者本人が作成しました。

Q ①原田・原泉地区の都市計画区域編入について、見解を伺う。
 ②新東名IC周辺(寺島・幡鎌)の土地利用と早期開発の推進は。
 ③原泉小の統合について、地域の合意や今後の計画は。

A ①早く平成二十一年四月くらいと考えている。
 ②今回の補正予算で計上した(仮称)森・掛川IC周辺基本構想策定業務にて、地元希望や専門家の意見も伺いながら、最良の土地利用を図るために研究・検討をしていきたい。
 ③昨年十一月に「学校適正配置等検討委員会」を設置、諮問した。現在八回開催され、まとめの段階に入っている。地域では、区長会役員や保護者などと意見交換会を実施した。今後のあり方については、検討委員会の答申を待って、慎重に検討していく。

掛川市北部(原泉・原田)地区の地域振興策と課題は

山本義雄 (親和会)

ブラジル移民の父 平野運平氏胸像建設の考えは

Q ブラジル県人会五十周年式典に知事、市長などに参加した。現地静岡県人会の方々より、掛川市出身のブラジル移民の父と言われる平野運平氏の胸像を出生地掛川市に建立の要望があり、早期推進すべきと思うがいかがか。

A 残念ながら平野氏については、市民にあまり知られていないのが現状であるため、公費での建立は事実上難しいことである。民間の力を用いて、公費を使わないでつくる方法はないか検討したい。

【他の質問事項】
市長の市政運営



日本人入植地の開拓の祖となった平野運平氏(サンパウロ市内)

労働力確保への取り組みは

石山信博 (みどりの会)

Q 掛川市の平成十八年度工業出荷額は県内第五位。全国でも有数の工業都市となったが、団塊世代の大量退職や牧之原市への大手企業の工場増設などから、市内の労働力不足が深刻になってきた。工業政策を前面に出した、労働力確保対策に取り組みが必要があると思うがいかがか。

A 景気が堅調に推移していることや少子化が進んでいることなどから、新規学卒者の雇用に関しては、求人倍率が高くなっている。こうした中、地元企

業への就業促進を図るため、小笠地区雇用対策協議会では、積極的に地元企業への就業PRに努めている。

地上デジタル放送への計画的な対応は

Q 電波法が改正され、テレビ放送は二〇一一年七月に地上デジタル放送にかわる。テレビ機器や共聴アンテナなど、市民生活に混乱なきよう指導・計画的な対応が必要であると思うがいかがか。

A 地上アナログテレビ放送終了については、テレビなどで盛んに報道されており、多くの市民がある程度認識していると思う。当市でも広報誌により一層の啓発活動を行っていく。周知・広報にあたっては、正確な知識をわかりやすく提供するように配慮したい。

【他の質問事項】駐車場対策



スノーモービルの生産ライン (市内企業)

南北道の促進は

八木宏之（親和会）

Q 合併協議会で約束された「クォーター道路」が魅力で合併に賛成した人も多いと思う。南北をなるべく近くし、市街地づくりの魅力を高めるためにも、掛川駅まで結ぶ方法を打ち出すべきだと思うが、いかがか。

A 今後、掛川高瀬線が開通川駅まで行くことができる便利な道路を、具体的に考えていく必要があると思う。高瀬線は将来的に四車線にということが特別委員会の提言もあるため、時間はかかるが、来年度から具体的な計画を立てていかなくはないかと思う。さらに、地域の皆さんの合意を得て高瀬線を南に向けて延ばすことも、大きな課題と考えている。

教育問題を問う

Q 学校適正配置等検討委員会において、一学年二学級以上のクラスについては、現在の四十人を三十人学級にすることを検討されているか。

A 検討委員会では、子どもたちにとって望ましい教育環境を整備していくために、学校の適正規模とその配置などについて検討しており、



よりよい教育環境の整備を

三十人学級については検討項目に含まれていない。今後、国や県の動向を見ながら考えていく。教育については、現在、各小中学校において、様々な取り組みがなされているが、この実践をモデルにしなが

ら、成果を市全体に広げていきたいと考えている。また、今年度「かけがわ食育推進計画」の策定を進めており、市を挙げて食育を推進していく。

【他の質問事項】農業問題、同報無線、介護問題、ボランティア

内藤澄夫（親和会）

今後の掛川市農業のあり方と推進方法は

Q ① 担い手後継者をどのように確保または育成していくか。現在行っている施策は。

- ② 価格暴落している農産物に対する考え方は。
- ③ 原材料の値上がりや原油価格の高騰について。
- ④ 大須賀支所農産係の大東支所統合後の運営方法は。
- ⑤ 水田における転作作品目の見直しと考え方。

A ① 掛川市農業振興ビジョンに基づき、認定農業者の育成、農業経営の法人化推進、生産基盤整備等への補助金交付、農業制度資金への利子補給、農業活性化やる気塾等への活動費補助など農業の

活性化を支援している。来年度からは、他産業からの新規就農者を育成するための市独自の補助制度を設けていきたいと考えている。

② 収益性の高い農業の確立のためには、農業経営に対する発想の転換や経営の工夫など農業の中にビジネスの考え方を取り入れることが必要と考える。

③ 原油価格はこの五年間で二倍になっており、それに伴い、原材料費や資材の価格も高騰している。これを乗り越えるためには、企業の経営手法の導入による経営の合理化が必要ではないか。

④ 行政改革の一環として来年度から大須賀支所農産係を大

東支所農産建設係に統合する予定でいる。各種施策の基本方針の決定と主要事務事業の実施は本年度と同じく本庁が行い、大須賀地区内の農業用施設の修繕や大井川用水の管理などを支所に分掌させることになる。統合にあたってはサービスの低下を招かないように配慮していく。

⑤ 農業者、JA、行政関係者、農業委員などで構成される地域水田農業推進協議会では、麦、大豆、飼料作物などの助成を行っている。今後も国や県との連携、情報収集を図りつつ、新たな産地化に結びつく転作作物への助成について協力していきたい。



市長の政治姿勢を問う

高塚昌彦（親和会）

Q 「政治生命をかける」と固い決意で臨んだドラマ館（戦国の館・掛川館）だったが、入場者は目標の半分にも満たないが、市長の見解は。

A 一年間を通じて約十五万人が掛川城に來城していただいたが、もし、このドラマ館がなかったらもとの八万人台の來城に落ち込んでいた。全国から来ていただいているということを考えれば、これが失敗だったとは決して思っていない。しかし、考え方に甘さがあったことは、率直にお詫びしたい。今後、こういうことをやるときは、充分慎重に考えて処していきたい。

「かけがわ教育の日」の成果は

Q 「かけがわ教育の日」の行事は本市にとって初めての試みであったが、初回にしてはその評価は高い。市民に掛川の教育にふれる機会を設ける意味で、こういう行事

は継続すべきと思うがいかがか。また、広く市民が参加できるような工夫は。

A アンケート調査を行った結果、「大変よかった」「よかった」を合わせると八十九%になり、一定の評価をいただいたと考えている。来年二月に、実行委員会と協力団体協議会を開催し、十九年度の反省や二十年度の取り組みについて協議する予定で



平成19年12月24日「戦国の館・掛川」閉幕

ある。単にその日限りのイベントにするのではなく、「私たち大人の責任と協働」を合い言葉に、子どもたちのために市民総参加で何をすべきかと

バイオマスタウン構想の調査研究は

戸塚久美子（みどりの会）

Q 掛川市には、バイオマスタウン構想を策定するに値する諸課題がある。例えば、し尿汚泥処理施設の限界や畜産排泄物の環境問題、及び畜産堆肥の供給過剰と畜産経営の悪化など。これら全ての問題解決に、バイオマス（ガス化）は有効ではないか。

A 平成十七年二月に掛川市地域新エネルギー詳細ビジョン（バイオマス関連）を策定しているが、バイオマスタウン構想の策定には至っていない。しかし、資源循環型社会の実現に向け、バイオマスである家畜排泄物等によるメタン発酵等を利用し、地域でのエネルギー利用の推進を庁内関係課と協議を進めている中で検討していきたい。

いう行動計画もつくっていきたい。

【他の質問事項】 温室効果ガス削減と環境美化



バイオガスで発電を行うバイオマス資源化センター（大分県日田市）

真の行政改革をするために何が必要か

Q 行政改革の究極の目的は、市民サービスの向上である。行政の資源である財源と人材が縮小していく中で、大切なことは戦略的政策形成と人材育成であると思うが、市の取り組みを伺う。

A 長期的かつ総合的な観点で職員の能力開発を効果的に推進するための指針として、人材育成に関する基本方針を策定しているが、この中で求める職員像を「あらゆる課題に対し、市民の視点に立った対応ができる能力と意欲を持った職員」とし、こうした人材育成のために、職員の能力開発支援のほか、職場環境の整備及び人事管理制度の向上を三本柱とした取り組みを行っているところである。



財政の観点から新統合病院を問う

鷲山喜久（日本共産党）

Q 新統合病院の建設総額は。財政健全化から現在の実質公債費比率をどのようにしよとするのか。建設場所について、現在地を主張する考えはないか。

A 建設費、建設場所については、新病院建設協議会でお考えいただくということ、私の考えは差し控えたい。実質公債費比率については、本年度十八%を超え、起債許可団体となったため、公債費負担適正化計画を策定した。この計画では、適正な債務管理を通じて実質公債費比率を十八%未満とするよう、五つの方策を定めている。今後、この計画に基づき、債務の低減に努めていく。

南部地区のごみを環境資源ギャラリーへ搬入する計画は

Q 市長が菊川市を思うあまり大東地区、大須賀地区



環境資源ギャラリー（満水地区）

のごみの環境資源ギャラリーへの搬入計画が進んでいない。搬入時期が早くなれば、運営経費の軽減になる。西方地区の要望もあると聞くが、現在の進展状況を問う。

A 一月上旬にこの問題について、菊川市長と話し合いをすることになっていて、協定としては、向こう五カ年間ということまで了解できれば、それで協定をしていき

A 砂防工事については、県と連携し、堆砂垣設置や人工盛土工などの砂防対策を実施しており、地道ではあるが確実な成果が得られている。今後も大浜海岸保全対策協議会等で調査検討を行い、砂防対策の充実を図っていく。防災林の機能復活には、被害木の伐倒処理を行い、その後、の復活に向けて地形、地質に合った樹木を選定し植栽していく。

Q 白い砂浜と砂丘は防災上重要な自然の構築物と言える。飛砂防止工事の状況は。海岸林は景観とともに津波等に対しても重要である。激甚な松枯れ被害の抜本的防除対策は。



砂丘荒廃を防ぐための対策を

危機的状況にある海岸砂丘と海岸林の対策は

水野 薫（親和会）

また五年後に見直しをしていくという提案があった。私もそれに賛成である。できるだけ早い時期にごみを円満に処理できるようにと一生懸命努力をしている。南部地区との約束より二年早いスピードで

やれるかやれないかということとを今、議論しているところである。
【他の質問事項】
市長の海外視察

Q 原油高が農業経営を悪化させているが対策は。また、遊休農地対策、担い手対策、地産地消の推進、青少年への食育など、農業生産基盤の充実と保全策は。

A 原油高は農林業だけでなく多くの産業にも影響を与えている。この厳しい状況だからこそ、商品開発とともに市場流通や販売網の拡大などを図り、ブランド維持に努めるなどの経営努力を期待する。遊休農地については、一度に解消する特効薬的な手立ては残念ながらないため、「農業活性化やる気塾」の活動等により、その地域ごとに最も有効な手立てを検討し、解消していきたいと考えている。

担い手問題は、県の事業と連携し、新規就農に意欲のある若者に対し、二年間の研修費用の一部を負担する本市独自の補助制度を設け、支援したいと考えている。

【他の質問事項】
市長の政治姿勢、国際化対応

農業を取り巻く厳しい環境の中、掛川市の農政は

「人づくり構想かけがわ」の検証

東堂陽一（親和会）

Q 「人づくり構想かけがわ」の内容や特徴についての検証、「かけがわ教育の日」の実施に対する評価とこれからの展開、衰退傾向にあるスポーツ少年団活動の充実策などについて伺う。

A 「人づくり構想かけがわ」の見直しは、第一次掛川市総合計画や教育基本法・教育三法の改正等も踏まえつつ、様々な教育課題に対応するため、内容の見直しを行い、教育の充実に努めていく。

「かけがわ教育の日」は多くの方々に参加していただき、良い評価を頂いたと受けとめている。課題としては、市民へのPRや具体的な行動計画の策定などがあるが、今後、実行委員や協力関係団体協議会などの意見も聞き、「かけがわ教育の日」が一過性で終わらないよう、さらに発展するよう努力していく。

スポーツ少年団の指導者は、永年継続して子ども達

のために一生懸命努力していただいているため、教育委員会としても、団体関係者や体育協会とも引き続き検討して、より良い方向を見いだせればと考えている。



11月19日「かけがわ教育の日」

全国学力テストの結果・対策・公表は

Q 賛否両論のあるテストであったが、どういう考えで参加したのか。また、テストの結果、分かったこと、それに対する対策をどうするのか。テスト結果の公表はどのようにするのかを伺う。

A 市の学力・学習状況を全国・県と比較することや特徴的なことを把握し、改善に生かすことは、大変重要なことであるし、各学校においても、自校の実態を把握する必要がある。テスト結果は、全国や県に比べ優れていて、基本的な生活習慣が身についている子供や意欲を持って学習に励んだりしている子供が多いという結果であった。現在、

テスト結果の分析を始めたところなので、分析結果が出たところで改善策を検討していく予定である。結果の公表は、慎重に検討した結果、公表しないことを基本とする。なお、児童・生徒の個人結果は、全国の正答率などを書き加えた形式で、各個人に配付している。

【他の質問事項】
市民総代会地区集會

市立総合病院の充実と現在地での存続は

水谷陽一（日本共産党）

Q 「掛川市立総合病院を充実し現在地での存続を願う会」が、署名を一万三千名も集め、市議会議長に提出した。請願人代表は、個人では市内

在任の弁護士や医師、元町収入役。団体では、市立総合病院の二つの組合などである。多くの市民は「市立総合病院は、身近でいつでも安心してかかれるもの。それが、現在地から移転しては困る」と署名した。市長はこうした市民の声にどうこたえるのか伺う。

A 多くの方々が現在の場所を、自分なりの認識を強く持っている。しかし、相手のあることなので、「新病院建設協議会」の委員の方に公平、公正に、皆さんにオープンに聞いていただいている中で肅々と決めていっていただくべきものではないかと考えている。

エコパ周辺という話も出てくるようだが、そういう事実はあるのか伺う。

くないし、エコパ周辺というのは、都市計画上の問題、その他いろいろな問題があるので、世間が言われているように、そういう簡単に建物が建てられるかどうかということについても、まだこれから検討していく余地があると思う。建設場所については、全く白紙であり、協議会の中で今後詰めていくことになると思う。

昨年、特別委員会の委員長報告で、統合以外に道はないのではないかと結論を受けて、統合に向けて進めているため、ぜひ御理解をいただきたい。そして、市民の方々に對しても、病院を遠くへ建設するとか、なくしてしまうということはないということを説明していただければ大変ありがたい。

【他の質問事項】浜岡原発、第二次障害者福祉計画



掛川市立総合病院

12月21日に生涯学習都市となることを宣言しました。

掛川市生涯学習都市宣言

- I 掛川市民は
少しでも多く幸せを実感するために
健康で生甲斐をもって生きていくために
いろいろな職業やコミュニティー活動、
文化・スポーツを通じて
自分は何だ、お互いは何をなすべきかと
いつも問いかけ合いながら
一生涯学びつづけていこう
- II 掛川市は
志の高い田園都市となるために
農業を抱え込んだ
緑あふれる都市となるために
多様な施策メニューをもつ
福祉・レクリエーション都市となるために
掛川市全域を美しい公園や
大学キャンパスのようにして
お互い、生甲斐を
引き出し合い連携する都市を創ろう
- III 掛川市民と掛川市は
後代への責任を果たすために
環境を守り行財政を計画的に運営し
みんなで、風格ある人間、愛情ある家庭
村格ある地域、都市格ある掛川市をめざし
海と山と街道と報徳の掛川学をじっくり
展開していこう
そしてゆったりした豊かな生涯学習社会を
構築していこう
- IV 以上、このようなことが
健康長寿と安心・安全を得るために
極めて大切なことだと思うので
生涯学習都市を宣言し実践しよう

可決された意見書(要旨)

太陽光発電設備普及促進に関する意見書

地球温暖化対策として、太陽光発電の積極的導入を一層進められるよう強く要望する。

記

- 1 太陽光発電などの自然エネルギー設備の設置を誘導するように、より高い買取制度を導入すること
- 2 個人設置の発電設備の導入をより進めるため、新たな技術開発を促進すること
- 3 公共施設に積極的な導入を図り、太陽光発電設備設置普及率を高めること

(提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、環境大臣、資源エネルギー庁長官)

森林・林業・木材関連産業政策と 国有林野事業の健全化を求める意見書

森林整備への必要な対策を講ずるよう強く要望する。

記

- 1 森林・林業基本計画に基づく森林の整備・保全、地域材利用対策の推進と、木材の生産・加工・流通体制の整備、林業労働力の確保に向けた諸施策を確立すること
- 2 地球規模での環境保全への対策を推進し、地球温暖化防止における森林吸収源対策の財源を確保すること。また、小規模森林の整備を促進するとともに森林所有者及び地方自治体の負担軽減を図るため、国庫補助率等の改善を図ること
- 3 国有林野については、安全・安心な国土基盤の形成と、地域振興に資する管理体制の確保を図り、国民の共有財産である国有林の持続可能な森林管理と、技術者の育成確保を国が責任を持って図ること

(提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、外務大臣、経済産業大臣、環境大臣、農林水産大臣、林野庁長官)

一級河川の権限移譲に関する意見書

一級河川菊川は、菊川市と掛川市を流れる流路延長28 km、流域面積158 km²の小さな河川ではあるが、古くから洪水の被害にさらされ、住民の河川改修への意識は高く、昭和8年の直轄工事の着手から今日まで改修事業は継続的に進められているが、未だ浸水や内水、溢水の危険箇所も多い。

政府の地方分権改革推進委員会の「中間的な取りまとめ」において、「一つの都道府県内で完結する河川については、一級河川の指定区間外(国管理区間)を含め、すべて都道府県管理とすべきである」とされていることは、地域の安全安心のために治水事業の推進を熱望する我々の切実な声に逆行するものである。

よって、国と地方の役割分担の見直しにあたり、国民の安全安心を確保するとともに、地域経済の安定を図るため、いままで同様に国が自ら管理者として責任を果たすことを強く要望する。

(提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣、内閣官房長官)

11月定例会における議案の審議結果一覧

番号	議案番号	議 案 名	議決内容
1	議案第113号	平成19年度掛川市一般会計補正予算（第3号）について	賛成多数可決
2	議案第114号	平成19年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	賛成多数可決
3	議案第115号	平成19年度掛川市介護保険特別会計補正予算（第2号）について	賛成多数可決
4	議案第116号	平成19年度掛川市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）について	賛成多数可決
5	議案第117号	平成19年度掛川市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）について	賛成多数可決
6	議案第118号	平成19年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計補正予算（第1号）について	賛成多数可決
7	議案第119号	平成19年度掛川市温泉事業特別会計補正予算（第1号）について	全会一致可決
8	議案第120号	郵政民営化法等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	賛成多数可決
9	議案第121号	掛川市建築審議会条例の制定について	全会一致可決
10	議案第122号	掛川市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	全会一致可決
11	議案第123号	掛川市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	全会一致可決
12	議案第124号	掛川市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	賛成多数可決
13	議案第125号	掛川市特別職の職員で常勤のもの給料等に関する条例の一部改正について	賛成多数可決
14	議案第126号	掛川市教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正について	賛成多数可決
15	議案第127号	掛川市職員の給与に関する条例の一部改正について	全会一致可決
16	議案第128号	掛川市職員の退職手当に関する条例の一部改正について	全会一致可決
17	議案第129号	掛川市手数料条例の一部改正について	全会一致可決
18	議案第130号	小笠南部広域都市計画釜ヶ谷地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について	全会一致可決
19	議案第131号	掛川市立学校設置条例の一部改正について	全会一致可決
20	議案第132号	平成18年度掛川市公共下水道大東浄化センター建設工事変更委託契約の締結について	全会一致可決
21	議案第133号	平成18年度掛川市公共下水道大須賀浄化センター建設工事変更委託契約の締結について	全会一致可決
22	議案第134号	消防団員防火衣等購入契約の締結について	全会一致可決
23	議案第135号	市営土地改良事業の施行について（ため池等整備事業細身ヶ谷池）	全会一致可決
24	議案第136号	掛川市道路線の廃止について	全会一致可決
25	議案第137号	掛川市道路線の認定について	全会一致可決
26	議案第138号	専決処分の承認を求めることについて（損害賠償の額の決定及び和解）	全会一致承認
27	議案第139号	専決処分の承認を求めることについて（平成19年度掛川市病院事業会計補正予算（第2号））	全会一致承認
28	議案第140号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	全会一致同意
29	議案第141号	掛川市生涯学習都市宣言について	全会一致可決
30	議 発 第 14号	「太陽光発電設備普及促進に関する意見書」の提出について	全会一致可決
31	議 発 第 15号	「森林・林業・木材関連産業政策と国有林野事業の健全化を求める意見書」の提出について	全会一致可決
32	議 発 第 16号	新病院建設特別委員会の設置について	全会一致可決
33	議 発 第 17号	「一級河川の権限移譲に関する意見書」の提出について	全会一致可決
34	請 願 第 2号	森林・林業・木材関連産業政策と国有林野事業の健全化を求める請願書	採 択
35	請 願 第 3号	掛川市立病院の充実と現在地での存続を求める請願書	継続審査
36	請 願 第 4号	浜岡原発の安全確保等に関する請願	不採択
37	陳 情 第 3号	誰もが安心して生活できる環境を求める陳情書	不採択

委員会行政視察

各委員会は、所管する事項を調査するため先進地へ行政視察を行いました。

議会運営委員会

10/1~3

視察事項

- 議会運営
- 議会の情報公開 (青森県八戸市)
- 原燃サイクル施設 (青森県六ヶ所村)
- クリーンエネルギーの取り組み
- 畜産開発公社、くずまきワインなどの農政施策
- 協働のまちづくりと財政運営 (岩手県葛巻町)



くずまき高原牧場バイオガスシステム

文教厚生委員会

10/10~12

視察事項

- 「鹿児島市立病院」経営改善の取り組み (鹿児島県鹿児島市)
- 九州一の子育てサポート都市づくり (宮崎県宮崎市)
- 公立小中一貫教育
- コミュニティスクール (宮崎県日向市)



宮崎県日向市立平岩小中学校

総務委員会

10/24~26

視察事項

- 議会改革の取り組み
- 議会費および情報公開 (北海道函館市)
- 発災後の時間経過による災害本部対応状況
- 国、県の財政支援 (北海道洞爺湖町)
- 市民参加条例 (北海道伊達市)

議会だより編集特別委員会

10/30~31

視察事項

- 議会だより編集について (神奈川県小田原市)
- (神奈川県鎌倉市)



鎌倉市での視察

南北道・幹線道路特別委員会

11/12~13

視察事項

- 道路交通網の整備方針・計画
- 合併特例債を活用した幹線市道整備 (三重県亀山市)
- (三重県伊勢市)

総合計画・駅前再開発問題等特別委員会

11/19~20

視察事項

- 宇都宮馬場通り中央地区第一種市街地再開発事業 (栃木県宇都宮市)
- 八日町第二地区第一種市街地再開発事業 (東京都八王子市)



うつのみや表参道スクエア (再開発ビル)

11月定例会の経過

11月

- 29日 本会議 II 平成十九年度一般会計補正予算等各議案の市長提案説明。一部議案質疑、委員会付託。委員長報告、採決。陳情審査結果報告。

12月

- 総務委員会 II 付託議案審査
- 10日 本会議 II 一般質問
- 11日 本会議 II 一般質問
- 12日 本会議 II 議案質疑、一部議案採決。議案・請願、常任委員会付託。
- 常任委員会 II 付託議案・請願審査
- 14日 常任委員会協議会 II 重要課題テーマ討議
- 21日 本会議 II 常任委員会委員長報告、質疑、討論、採決。(人事関係議案・都市宣言) 市長提案理由説明、採決。請願審査結果報告、請願採決。意見書採決。常任委員会協議会委員長報告。特別委員会委員長報告。特別委員会設置。議員派遣採決。

